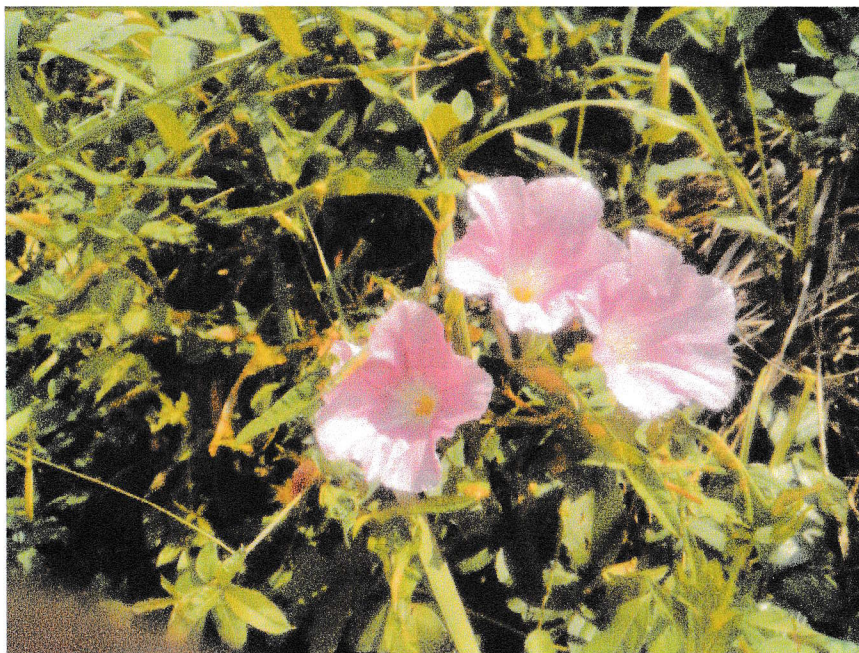


〈一口メモ〉

酒米「亀の尾」

原品種「**亀ノ尾**」は山形県の篤農家、**阿部亀治さん**により育成された日本のイネ品種です。その子孫一般をさす時は「**亀の尾**」と表記します。「亀の尾」は、コシヒカリ、ササニシキ、五百万石などの祖先にあたり、酒米としても優れ、食しても旨いことから全国に広がり、酒米ベスト3に数えられていました。しかし、病虫害に弱く収穫量が少ないことから次第に姿を消し、幻の米と言われるようになりました。

いつもありがとうございます



連日の猛暑の中、ヒルガオがかわいらしい花を咲かせています。昼晩は見ることはできません。今朝草刈りをしていたら、しつこく絡む蔓がありました。ヒルガオの蔓です。いくら根っこから抜いてもまた、ほかのところから出てきます。今の暑い時期、蔓を縦横無尽に土の中を伸ばして勢力を拡大している草が多いように思います。猛暑の中、これらの草の生命力やしぶとさを見習いたいものです。 8月26日

〈縄文の響〉

純米吟醸酒「**縄文の響**」

は「亀の尾」という貴重な酒米と「越淡麗」で造られたとても存在感のあるお酒です。口の中できょろと、きょろがしていただくと「おいしい！」という言葉が聞かれます「亀の尾」のお米の旨さが素直に出ているお酒です。同じ造り方で米だけが違う「純米吟醸 天神離子」と飲み比べるのも良いかなと思います。



〈一ロメモ〉

酒米「亀の尾」

原品種「**亀ノ尾**」は山形県の篤農家、**阿部亀治**さんにより育成された日本のイネ品種です。その子孫一般をさす時は「**亀の尾**」と表記します。「亀の尾」は、コジヒカリ、ササニシキ、五百万石などの祖先にあたり、酒米としても優れ、食しても旨いことから全国に広がり、酒米ベスト3に数えられています。しかし、病虫害に弱く収穫量が少ないことから次第に姿を消し、幻の米と言われるようになりました。

いつもありがとうございます



連日の猛暑の中、ヒルガオがかわいらしい花を咲かせています。昼晩は見る事ができません。今朝刈りをしていたら、しつこく絡む蔓がありました。ヒルガオの蔓です。いくら根っこから抜いてもまた、ほかのところから出てきます。今の暑い時期、蔓を縦横無尽に土の中を伸ばして勢力を拡大している草が多いように思えます。猛暑の中、これらの草の草の生命力やしぶとさを見習いたいです。 8月26日

〈縄文の響〉

純米吟醸酒「**縄文の響**」は「亀の尾」という貴重な酒米と「越淡麗」で造られたとても存在感のあるお酒です。口の中どころどころと、ころがしていただくと「おいしい！」という言葉が聞かれます「亀の尾」のお米の旨さが素直に出ているお酒です。同じ造り方で米だけが違う「純米吟醸天神籾子」と飲み比べるのも良いかと思います。

